



代表 はまうら 佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

かしわら見張り番

岡本市長と中司被告をめぐる疑惑

中司氏二審も有罪

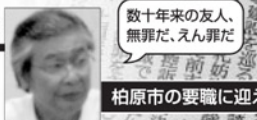
岡本市長は即刻辞任せよ

不正体質 “似た者同士”

岡本泰明市長が、独断で柏原市要職に就任させた中司宏被告は、十一月十八日、二審でも有罪となった。「中司氏は無罪、えん罪だ」と言い張って刑事被告人を市の要職に採用した岡本市長もまた同様に「有罪」と言える。その責任は重い。

校方前市長2審も有罪

中司氏二審も有罪



岡本泰明市長

似た者同士？

中司宏被告

なぜ刑事被告人を採用したのか？

校方市の官製談合で、一審有罪となった中司被告を、柏原市の「戦略会議」議長に採用、マスコミにも批判された。中司氏を採用しなければならなかった背後の理由は何か？

水道管談合事件
平成18年、柏原市発注の水道配水管工事をめぐる談合事件。9人の逮捕者が出た。

強制捜査

中司被告と同じく、岡本市長の数十年來の友人。今年の一般家庭ゴミ入札では、問題企業にもかわらず、同族企業が半数近くを落札。娘のY・A市議にも、利益誘導発言の疑惑がある。

K社Y・T社長



同族企業や娘のY・A市議も強制捜査を受けた

背景は読売新聞11月18日付夕刊

「言われんかて、今日辞める」

岡本市長、「辞める」と明言

九月二十二日 本会議

九月二十二日の本会議で、はまうら佳子議員が「中司氏が二審で有罪になった場合、市長自ら責任を取る覚悟はあるか」と質した時、岡本市長は、感情的になって、おおよそ次のように答弁した。

「あんなね、はつきり申します。(中司氏は) あんたよりは、

中司被告有罪問題

市議会で市長の任命責任を問われ

よつぽど…(役に立っている)と、はまうら議員を侮辱しつつ中司被告を最大限にもちあげた。「有罪やつたら責任とれど？ そんなん言われんかて、今、今日辞めます。ださうどぞ不信任案からどうぞ下さい。(辞めた)うちの案内が赤飯炊いてお祝いしてくれ

た言葉の責任は重い。それ以上市民の税金で刑事被告人を養うことは柏原市民が赦さないだろう。そして、刑事被告人を市の要職に採用し市政に混乱を来した責任を取り、岡本市長自らも職を辞すことが市民へのけじめだ。そうすれば、似たもの同士の友情も保たれるではないか。

市民には一切知られることなく、刑事被告人・中司宏氏を独断で市の要職に据えたのは、他ならぬ岡本泰明市長だった。当然議会はこれのことを問題視、藤森洋一議員が「どうして刑事被告人を採用したのか」と質問したのに対し、岡本市長は「中司氏は無罪だ。採用の執行権は市長にある」とつばねた。異常に中司氏をかばう岡本市長

その後も、橋本満夫議員が中司氏の給与のことを質すと、岡本市長は「おまえの給与より安い。おまえが辞めたらえんや」と暴言。九月の議会では、はまうら佳子議員が、もし二審も有罪なら中司氏が辞めるのは当然だが、責任をとって岡本市長もお辞めになるべきと述べた。それに対して岡本市長は感情的になり「あんたより、どれほど役に立っているか」などと、中司氏を必死にかばった。岡本市長は、いつも中司氏のことにすると、とたんに感情的になる。その異常

【校方市の談合事件】校方市が2005年11月に実施した清掃工場建設工事の入札をめぐる談合事件。校方市長だった中司宏被告が、元大阪府議や大阪府警元警部補、大林組元顧問らと談合し、大林組の共同事業体に55億6千万円で落札させたとして起訴され、有罪となった。

元府議ら4人は、すでに実刑が確定しているが、中司被告は「関与していない」として一審で無罪判決を受けた。しかし、控訴審判決は「別のゼネコンと付き合いがある」とされた政敵の市議(当時)の利権を排除できる動機があった」と判断、「市長が談合の端緒をつくった責任は重い」として懲役1年6月の有罪判決を言い渡した一審を支持した。中司被告は、一審で有罪になった後に柏原市「戦略会議」議長に就任。新聞各紙は「刑事被告人を自治体が採用するのは前代未聞」と報じた。